

つなまち

No.161
2005.10.18



9月定例議会

財産取得

グリーンピア津南購入③

自然災害による復旧費が増額

平成16年度決算④

自律への課題、アスベスト問題等

一般質問⑥

産業建設常任委員会・総文福祉常任委員会

委員会レポート⑩

シリーズ

私もひと言⑫



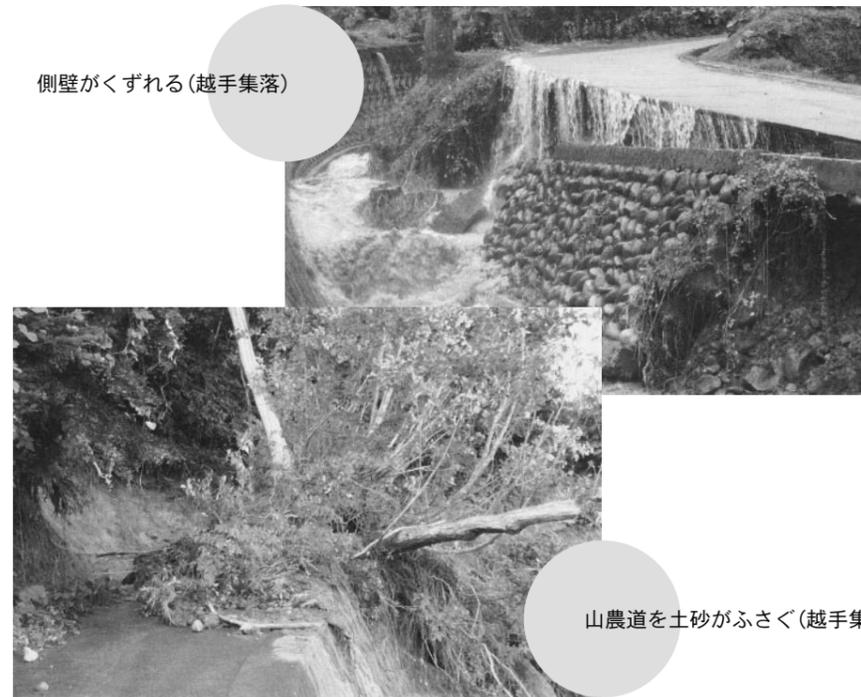
大平玄三議員急逝
大平玄三氏（72才）が10月9日逝去されました。大平氏は、平成14年6月初当選し、15年10月2期目の当選を果たし、総文福祉常任委員として活躍されました。ここに遺影を掲載し、敬意を表し、慎んでご冥福をお祈りいたします。

津南町条例の一部改正
町民税・固定資産税の前納奨励金を廃止することが提案され、可決しました。

条例制定・改正
公の施設（保育園・病院・文化センターなど）に係る指定管理者制度の手続条例が可決。「公の施設」は、2003年に地方自治法が改正され、管理委託制度を廃止し、株式会社を含めた民間参加が可能な「指定管理者制度」が導入され、3年以内に移行するか直営に戻すか決めなければならない制度です。津南町でも来年4月実施に向け、今回手続き条例が制定されたものです。

9月
定例議会
SEPTEMBER

9月定例議会は、一般質問8人、人事案件1件、陳情1件、条例改正・制定、財産の取得、17年度補正予算、16年度決算の認定等を審議し、原案どおり可決されました。



財産取得 **グリーンピア津南購入**

6月定例議会で示されたグリーンピア津南の購入価格より935万円下回る、2億370万円（うち消費税770万円）で年金資金運用基金より購入することが議決されました。即納金4,690万円を本年9月30日に支払い、残金は平成18年から27年までの10年間で均等に支払うことになります。

- 取得資産内訳**
- (1)土地 609筆(3,796,196.48㎡)
 - (2)建物 66施設(延べ床面積 38,793.52㎡)
 - (3)その他当該土地に存在する構築物、立木竹 一式

陳情

公教育である私立高校を守り発展させるため、私立高校への公費（私学助成）増額・拡充を求める意見書提出に関する陳情。

（陳情者）新潟県私学の公費助成をすすめる会
会長 宮下弘治

採択、意見書提出
日本の公教育は、公立、私立学校の両輪により支えられている、教育条件の向上、改善、保護者負担の軽減及び私学経営の健全化をめざす私学助成制度を尊重し、その堅持を求む。

（提出先）内閣総理大臣、文部科学大臣、財務大臣、総務大臣、衆、参議院議長、新潟県知事

教育委員の任命

江村かおる氏の再任に同意
平成17年11月9日任期満了により、江村かおる氏を教育委員に再任することの同意が決まりました。

補正予算

災害復旧費（融雪災害8/15.16水害）3億2,022万7千円を含む
総額4億3,494万4千円が補正されました。

一般会計

災害復旧費増	国庫補助金	3,105万円
	県補助金	1億3,668万1千円
	分担金	1,703万3千円
	町債	7,570万円
	一般財源	5,976万3千円
		(3億2,022万7千円)
衆議院議員選挙費(専決処分)		1,411万円
その他		34万8千円

国保会計

基金積立金(前年度繰越金)	2,000万円
医療費拠出金等増	1,099万円

介護保険

基金積立金(前年度繰越金)	2,054万4千円
償還金利子及び割引料増	2,018万9千円

簡易水道特別会計

秋成反里口、津南原水道本管布設工事増 他	2,020万円
----------------------	---------

下水道事業特別会計

水道管移設補償料増等	561万6千円
------------	---------

農業集落排水事業特別会計

維持管理費(修繕料増)等	272万円
--------------	-------

Answer Question



Q 庁舎内の清掃を業者に委託しているが、これらを軽減できないか。また、職員で出来る部分は無いのか。

A 庁舎の清掃は維持管理に直結する部分。フックス掛け等専門でないと出来ない。当然職員も毎朝早く出勤し、身の回りの清掃はしている。

Q 中越地震による土器の修復がなされているが、今後、地震対策はどう考えているのか。

A 展示してある部分は免震構造をとっていない。建物自体を免震構造にするか、免震構造の展示ケースにするか、どちらかしかない。重要な物から免震構造のケースに入れる方法が無いか考えている。

Q スキー場会計繰り出し金が予算に比べ増額されているがその内容は。

A 活性化センターに業務全体を委託する形を含め、リフト収入、入り込みが計画より少ない方向になったことも含め増額させていただいた。

Q 「なじょもん」の入館料が予算に比べかなり少額である。維持費もかなりかかるなか、今後有効的な使い方は。

A 当初予算では企画展でいただく予定であった。昨年の企画展は4件でその内有料だったのは1件のみである。無料入場者が2万7,000人くらい。本年から入館料をいただくこととした。

Q 農業公社の決算書の中身がわかりにくい説明を。また、共有地を提供している集落との文書による契約書はあるのか。

A 今年度からバランスシートを初めて作った。県の地域農政推進課の指導とバランスシートが合っていないので、今後見直す必要がある。共有地の件は集落共有地を農業公社名義に変えるとき契約書を取り交わしてある。

Q 新エネルギービジョンは今どのように進んでいるのか。

A 小松原で風力発電の実験をしている。小水力では土地改良区と水利権の調整をしている。

Q 電算処理費が毎年3,000万からでているが、津南の業者を利用できないか。

A 法改正に合わせてシステムを変えなければならない。法に精通したスタッフがいないと対応できないのが実態だが、考えさせてほしい。

Q 津南醸造の再建が可能との根拠と先に行くほど増える負債と現経営者の任命責任は。

A 営業のやり方を変え、全職員が一丸となって取り組むことが必要。経営者を選んだ責任は私たちが、監事だけで判断は出来ない。その時には関係者全員と相談する。

事業完了により減額も 自然災害による復旧費が増額



歳入 60億5,436万円
歳出 58億7,816万円
差引 1億7,620万円

一般
会計
(全員賛成)

平成16年度一般会計、特別会計決算が上程され、決算総額、歳入114億4,978万円(前年比10.9%減)、歳出111億1,326万円(前年比10.8%減)、差し引き残高3億3,622万円となりました。各会計の歳入歳出とも昨年を上回ったのは、国民健康保健特別会計、介護保健特別会計、特別会計、一般会計では、歳入60億5,436万円(前年比10億3,644万円14.7%減)、歳出58億7,816万円(前年比10億2,533万円14.9%減)と歳入、歳出ともに減額となりました。歳入で前年度より増えたのは、地方譲与税(2,625万円) 地方消費税交付金(1,077万円) 等であり、減少したのは町税(1,897万円) 地方交付税(1億2,829万円) 国県支出金(3億8,089万円) 等でした。歳出では、総務費(1,702万円) 土木費(1,426万円) 災害復旧費(625万円) (1,426万円) 災害復旧費(625万円) が前年度より増額となり、衛生費(5,314万円) 農林水産費(5億108万円) 教育費(4億1,597万円) 公債費(3,930万円) が減額となりました。大幅に減額となった農林水産費は農と縄文の体験館工事の終了、営開発事業償還金等の支出減、教育費では津南中学校建設費等の減少が主な要因です。

●老人保健(賛成多数)
歳入 16億7,393万円
歳出 17億990万円
差引額 ▲3,597万円
(17年度予算より繰上げ充用)

●国民健康保険(全員賛成)
歳入 10億6,553万円
歳出 9億5,843万円
差引 1億710万円
月平均被保険者数 5,717人

●介護保健(全員賛成)
歳入 9億6,423万円
歳出 9億1,550万円
差引 4,873万円
受給者数 527人

●下水道事業(全員賛成)
歳入 10億1,900万円
歳出 9億9,349万円
差引額 2,551万円

●農業集落排水(全員賛成)
歳入 3億2,494万円
歳出 3億1,705万円
差引額 789万円

●簡易水道(全員賛成)
歳入 2億8,322万円
歳出 2億7,976万円
差引額 346万円

●スキー場会計(全員賛成)
歳入 6,426万円
歳出 6,097万円
差引額 329万円



地震のつめ跡



農業処理と工事継続が待たれる豊船線

町長の五選は

町長：思いはある

●五十嵐 英教 議員

小林町政5選は

問 小林町政誕生より、早くも15年が過ぎた。来年7月改選に出馬はどうか。
町長 町自律の意味で責任を重く受け止めている。さらなる責任を全うすべきであると思いを強くしている。町民、議会からの一層のご協力をお願いする所である。ご理解をお願いしたい。

卯ノ木、豊船橋間の農業処理は

問 早期完通を願う法線以上に農業問題が有るが、県、町の対応はどうか、又今後の見直しは。
町長 農業防除による残留性に関係のあるBHC、DDT等を昭和46年に国は埋設処理をするように県に発令をした。県内では97ヶ所479トと聞いている。本町は一ヶ所で3879.9kgを処理した。県は平成20年までに無害化処理をする。本町は第一段階に次年度埋設ボーリング調査をし、周辺の土壌調査、19年に埋設農業の処理を行う。卯ノ木線は埋設付近手前まで来ているので次年度より農業処理をしなければ工事は進まない。経費は国、県の補助を受けて行う予定である。

自律を選択した津南町その責任は

町長：自律を全うする責任がある

●草津 進 議員

5選出馬の意欲は

問 「自律元年」その導きと地域の戦略を立て、実行していくための必要がある。継続は力なり、5選出馬の意欲は。
町長 市町村合併の課題があるなかで、正直言ってこの辺が節目と考えている。町の活性化が今後の大きな課題であり、自律の責任を重く受け止めている。

アスベストの実態調査は

問 津南町における公共施設のアスベスト使用状況を把握されたか。学校内での調査は。
町長 調査は学校・保育園、病院等、全133施設について施工業者に依頼して現場で調査をした結果、8施設に確認がとれていない。検査機関にサンプル及び検査を委託する予定である。2校において



自律町づくりのリーダー

津南醸造の販売推移は

可能性のある建材の使用があった。ボイラー室、放送室に限定されていた。今後建築業者と相談して対応していく。
問 五百万石の作付けと酒の生産量のバランスは。
町長 固定販売ルートがなく在庫調整で製造量を落とす。

自律元年新たな営農への構築を

町長：「町の産業はひとつ」を基に振興を図る

●樋口 松雄 議員

産業の振興と魅力のある方向づけを

問 町誕生から50年、厳しい行財政改革のもと自律元年として、総合振興計画の見直しの中、特に農業を取り巻く産業の振興と合わせ、町全体の魅力ある方向づけを。
町長 食料自給率の低迷と輸入増加等厳しいが、山麓事業中心に農業生産活動は拡大し伸びている。恵まれた環境を活かし、農、工、商の総合的一貫した振興を図る。

役場組織機構の再改善を

問 機構改革の一貫として、庁舎内配置の見直しにより、

事務事業は効率上問題はないか。
町長 行財政改革と三位一体の中で実施した。事務機配置の対面方式は行政サービスの向上を図るため、全組織改革ともリンクする。若干とまどいの面もあるが理解されるものと思っている。

中学生への配慮と全地域内への説明を

問 今の在校生並びに保護者の間に進学先への不安要素が多々ある。町の対応は。また中高一貫も全地域説明を。
教育長 十日町高校と十日町総合高校の学級増により今まで通り心配ない。通学等の配慮も前向きに進める。中高一貫についても一層の理解に努め進めていく。



今年も賑わったひまわり畑

災害支援隊の出動基準は

町長：災害復旧を応援し安心感を与えたい

●大平 謙一 議員

ボランティア隊の働きは何か

問 災害復旧支援隊の考えは良い事と思っている。住民に本当に喜ばれる支援が出来るように、公平な出動基準、仕事の内容等や支援への指導、又、出動中の職員の安全確保や出勤欠勤の扱いなどはどうなるのか。
町長 高齢化世帯や小集落等は緊急を要する身の回りの後片付け、生活用水の確保等も困難な場合も考えられることから、人力程度であるが、災害復旧作業を応援し、町民に安心感を与えたいということから、町職員による災害復旧支援隊を組織した。支援作業は宅地周辺の土砂の撤去や家屋の掃除、生活用水の確保など人力作業を主とする。支援対象者は高齢者世帯、高齢者の多い集落、出動は本人又は集落からの要請があった場合、現地調査をし決定する。出動は業務扱いである。



地域ボランティアにより水害の田から除去されたゴミ

落札率は下がったか

問 入札と契約事務の一元化の効果は。又、発注者として予定価格引き下げに新工法等の勉強はしているか。
町長 一元化は公平、公正の確保であり、事業費の節約にはリンクするものではない。

小泉農政改革に反対せよ

町長：津南としての農業立町を進める

・大口 武議員

大規模農家でも競争にならない

問 世界一の農産物の輸入国であるのに小泉首相は「農業鎖国は続けられない」「外国農産物との競争に耐えられるよう農業構造改革は待ったなしだ」と発言した。これは農産物の関税の一層の引き下げと輸入拡大を行うということにほかならない。コメの輸入原価は一俵4千円程度であり大規模農家でも競争にならない。小泉農政改革は津南農業を困難にするだけだ。町長と農委会長の見解を求めます。

町長 WTO体制のもと日本農業は悪循環にあり内憂外患の状況である。新たな経営安定対策も津南の農家が対象になるかは不明だ。基本的食料以外の農産物のコスト削減は限度にあり、その認識の上でのWTO対策、国内農業対策が必要ではないか。多様な農業生産、日本型食



家族経営で頑張る農家

生活の維持、農村文化の継承、国土の保全のために担い手農家だけでなく兼業農家、多様な農家の存在が極めて重要である。津南農業の生産は増加しており、津南としての農業立町を今後も進めていく。

農委会長 経営安定対策も全ての農家を対象とすべきであり2階、3階建ての部分で担い手農家や作目による支援をするのが津南に合っている。

石綿水道管の健康被害はないのか

町長：健康上の問題なしが厚労省の見解

・藤ノ木 浩子 議員

上水道のアスベスト管は大丈夫なのか

問 日本は990万トンもの石綿（アスベスト）を輸入し、その9割以上が建築材料に加工し、消費されている。石綿被害は、建設労働者や製造工場周辺の住民にまで被害が拡大していることが明らかになった。旧労働省は34年前に「肺がんを発生する」「中皮腫を発生する」危険を指摘し通達を出している。石綿の有害性を認識しながら、使用を認め対策を放棄してきたその責任は重大である。上水道の石綿管使用による健康被害についての認識を伺いたい。



塩ビ管に交換される Etaニット管

町長 Etaニット管による人体に与える影響について厚労省は、経口摂取による毒性は極めて小さく、アスベスト残留量は問題レベルにならず、水質基準の設定を行わないとしている。WHO（世界保健機構）策定の飲料水ガイドラインにおいても定める必要なく、健康上の影響はないが見解だ。

問 石綿管の残っている地域の今後の対応は。

町長 Etaニット管の箇所は公共下水道事業の進捗に伴い縮減している。町営水道では、津南原500mが下水道で入れ替えとなり、秋成、反里口水道組合は、17年、18年で入れ替え、よって卵の木の未系列1,000mを除き、ほぼ姿を消す。

津南醸造(株)の将来展望は

収入役：5年後売上高1億2,000万円をめざす

・藤ノ木 富有 議員

行政責任の重要性に鑑み強力な後押しを

問 酒造会社設立以来多額の借入金に加え、売り上げが激減し経営は厳しい。公金を投入し新事業を立案、主導、具現化した行政の責任は重いと考える。これ以上傷口を大きくしないためにも、設立10年になろうとする今日、設立目的を再確認し本格的経営改善を。

町長 農協の理事会で提案されたもので町の発案ではない。補助金を頂く都合上、手続きを踏まざるをえなかった。赤字の大きな要因だった在庫処分も終わった。前向きな考え方で営業体制を強化し、販売



新酒が仕込まれるタンク上層部

消費拡大に積極的に協力する。日本食研がアメリカへの輸出をという提案もあり議論、検討している。

問 損益分岐売上高は。収入役(監査役) 第52期で8,700万円位

三セク破綻処理の町の関与のあり方

問 町が出資、出捐を行っている第三セクター方式の株式会社の経営悪化による債務整理に係る公的支援の在り方及び補助金投入の判断基準は。

町長 基本的な責任範囲は出資の範囲内である。判断基準は住民サービスの継続に必要かどうかである。

農薬取締法の見直しを

町長：食の安全、安心のためには必要

・島田 福一 議員

畑地畦畔への除草剤の使用を可能に

問 食の安全、安心を目標に農薬取締法が改正されたが、農家として納得のいかないところもある。畑地畦畔への除草剤の使用基準もそのひとつであり、知事とのタウンミーティングで見直しをお願いしたところ取り上げ、国まで上げてくれた。農業立町を町是とする我町は、こういう事案こそ率先して取り組むべきではないか。

町長 農薬取締法は過去数回の改正がなされてきたが、食の安全、安心のためには必要と思う。

地域振興課長 県の出先機関に話してきたが進まなかった。たまには直訴も必要と思う。

新規就農者の営農に支障を出すな

問 農業公社集出荷施設の火

災で、新規就農者の農業機械も多大な被害を受けたが、今後の営農に支障の無いように町としての対応をお願いしたい。農事法人をつくり、補助事業を受けやすくなり、農業公社の仕事の一部を任せることで、経営のより安定も可能と思うが、町の考えは。

町長 被害総額1億1,800万円となったが、建物は早期に再建し、農機については農協にも協力をお願いし、農家の意欲減にならないようにしたい。

地域振興課長 それぞれ個々の仕事で手いっぱいだと思うが、話し合ってみる。



やぶになった法面

産業建設常任委員会

地産地消を基本とした 農業の町づくりを視察

●委員長 吉野 徹

7月25、26日管外視察として山形県藤島町にて、月山パイロットファームとふれあい給食センターサンサンを、櫛引町では、櫛引農工連とフルータウンあぐりを視察してきました。藤島町は面積約63km²、人口約1万人で農業を核とした資源循環型の町づくりを進め、安全安心な食料生産基地を目指し、都市と農村が共存できる町づくりを掲げております。月山パイロットファームでは有機農業を基本とした「だだちやまめ」の輪作体系や無添加無着色の漬物加工、消費者への直販等説明を頂き、作付け畑も見学してきました。ふれあい給食センターでは、小中学校、幼児施設に1、500人分を配給し、地産地消をもとに生産者による「サンサン畑の会」（5団体16人）が結成され、生産計画から納入システム等の説明を伺いました。食育から地産地消まで大変優れた施設であり、今後本町としても研究が必要と感じました。

2農協の合同出資であるJ A櫛引農工連の視察では、農



櫛引町の農産加工工場を視察



豪雨により畦と農道が崩れた米原地区

委員会視察

産物の付加価値づくりを目指し、醤油、漬物加工を中心に特産品の開発を行っておりました。「しななまきゅうり」は全国的に有名です。

最後の視察先フルータウンあぐりは、町が設置し農家による組合に貸し出し運営をしております。直販所、農家レストラン、加工施設まで一括した施設であり、消費者と組合員とのふれあいの場としての施設でもありました。

今回、町にとっても関連が深く、地産地消、農産物の付加価値づくり等有意義な視察でありました。今後の町づくりにおいて大きな問題提起を頂いたと思っております。

集中豪雨災害

8月15日突然襲った集中豪雨、全町に渡って大きな被害を残しました。委員会では全町における被害状況を作況調査と合わせ、同26日実施しました。町道11ヶ所、農地68ヶ所、林道の崩落、河川の崩壊等公共災、農災での1日でも早い復旧が望まれます。また、農産物においても、河川の氾濫による冠水や、鉄砲水による被害も大きく、災害認定に向け頑張っております。

総文福祉常任委員会

中高一貫教育とは…

●委員長 草津 進

平成18年度津南高校募集停止後、中等教育学校が開設計画であります。総文委員会はすでに開校している柏崎翔洋中等教育学校と、長岡市の高齢者総合ケアセンターこぶし園の小規模多機能サービスについて視察してきました。当日は中等教育学校に津南小学校の保護者6名も同行し説明を受けました。

教育目標 主体的に学び、真理を尊ぶとともに豊かな人間性や創造力を身につけ、国際的な視野に立ち社会発展に貢献し得る積極性有為の人間を育成する。でありました。

指導方針 積極的、基本的学力を培うとともに、自主的、積極的な学習態度を育成する。社会規範を尊重し、厳しく自己を律する態度を育成する。心身を鍛錬し、たくましい気力、体力を育成する。挑戦、学習指導、進路指導、生徒指導の重点を設け実践事項を着

実に実施しておりました。前期課程3年、後期課程3年、十分な時間を掛けて学習を積み重ね、基礎学習、応用力などをつけることでした。行事や体験活動で、体力気力を養うとともに、社会性や創造力を培うことができ、6年間一貫した学習をとおして進路将来を考えることができる。わかる授業、丁寧な授業、数学と英語では理解に合わせた少人数授業がおこなわれていました。柏崎市立中学校より3年間で210時間も学習時間が多く、毎日2時間分の宿題が出されていきました。

体験学習、スキー合宿、特別学習も盛り込まれ楽しい中身でありました。教育水準は確実に上がっているとのことでした。参加された保護者の皆さんも中等教育学校の中身がわかり、不安を払拭したようです。

高齢者総合ケアセンターこ

ぶし園では、平成7年から24時間365日のホームヘルプサービスをはじめ、デイサービスも365日午前7時30分から夕方6時30分まで提供し、夜間緊急対応の訪問看護、3食365日の配食サービスなどを組み合わせたサポートセンターが展開されていきました。安心して利用者から期待されていきました。



柏崎翔洋中等教育学校の英語授業

委員会レポート

産業建設常任委員会
総文福祉常任委員会



シリーズ・町民の声 私もしと言

「津南町に思うこと」

十二ノ木 関谷 雄輔さん



結婚を期に柏崎市から津南町に戻り、早くも半年が経ちました。東京から柏崎と、5年の間津南を離れ、それぞれの町に、それぞれの良い所がありその地を離れるのは、勿体ない気もしました。津南に戻るとやはり、生まれ育った環境に温かみを感じました。津南には自然が沢山あり水も美味しく、人情味あふれ「伝統的」な事や物が数多くあると思いますがその反面、私と同年代の人の少

なさに淋しさを覚えました。世の中では少子、高齢化が大変問題になっていますが、これは津南にも大きく当てはまる事だと思います。その為にも若い人達が働け、戻って来たいと思う町創りが大切なのではないでしょうか。伝統を大切にしながら、どんどん新しい物を取り入れ、他の市町村に住む人が移り住みたくするような町政策をしてもらえたらと思っています。

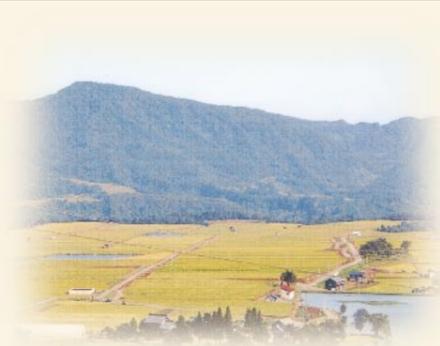
「議会傍聴」

正面 山田 千鶴さん



ある会で「議会傍聴」が取り上げられ行く機会ができ、参加することができました。仕事の関係で傍聴に行けない、また顔見知りの議員の話も聞いてみたいけど一人で行くのは少し抵抗があると思っている人は大勢いる。そのような人達のために議員さんは津南町のためにどのような活動、仕事をしてきているのかを取り上げて記載されているのが議会だよりです。私はたった一度きりの傍聴でしたが、議員さん一人ひとりが町民の声をどのように町政に届けているのか。それを反映させているのか。これからの津南町をどのように発展さ

せてくれるのだろうか。やはり実際に見て聞く事で議員さんの見たことの無い一面や町政側の反応、その意気込みが伝わってとても良い経験と勉強をさせていただきました。津南町に議員がこんなに大勢いるけど、町のためにちゃんと仕事をしているのかしら？って思われている方や傍聴に行ってみたくて行けない方のためにも是非、見て聞けるような行きやすい議会、行政、町民のフリースペースのような懇談会の場を作っていただけたら、きっと町民も行政側も良い刺激となり、より良い町づくりができるのではないのでしょうか。



津南町を集中的に襲った8月16日の水害、9月10日の電災害は、町内各地に甚大な被害をもたらしました。町では早急な復旧対策を講じている所です。稲刈り真っ最中ですが、実り多い事を願ってやみません。9月定例議会では、16年度決算の承認、グリーンピア津南購入など。一般質問では、アスベスト問題、津南醸造等が質問された大きな課題となっており。広報委員2年目となった私ですが、皆様に読みやすく、分かりやすい広報編集に努めたいと思っております。ぜひ皆様の御意見をお願いいたします。(眞)

編集後記